



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院

〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

発行責任者：藤井美憲 編集：埼玉育児院広報委員会

Tel 049-231-2107

Fax 049-231-2111

## 2024 春の旅立ち

子どもたちを社会へ送り出す春が巡ってきました。

今年は、2名が就職、1名が進学、もう1名はこれから関係機関と進路を決定することになりました。

乳児院から移動して長期間の生活だった児童や、自立を目的とした短期間の入所だった児童。それぞれに施設職員として何ができたか…。「育児院の生活どうだった？」と、いつか聞ける時が来るといいな。

### 卒院する児童から

これから先仕事から引退まで

長い間お世話になりました。  
大学進学も決まり、新生活の準備も着々と進んでいます。  
新しい生活で不安なことたくさんあるけれど自分らしく頑張りたいと思います。ありがとうございます。

育児院に...  
お世話になりました。向こうへ行くのは少し不安ですが、新しい生活も頑張ります。よろしくお願いします。

### お家の職員から

進路決定・自立支援にあたり

コミュニケーションが難しい子だったのが、意思疎通が大変だった。話しができる職員さん任せになってしまいました(泣)

卒院おめでとう!!  
トトロ(親子訓練室)を活用して一人暮らし体験をしました。すぐに部屋が汚れてしまいましたが、部屋を綺麗に保つてほしいです。

高校2年生から進路の話をしていた。本人の意向や考えを聞き、最終は自分で選択してほしい。見守りたい。手を離れたいと反省もありです。

## 「思いやりを大切に」

施設長 藤井美憲

毎年、3月のこの時期は「別れ」と「出会い」の時期となります。学校に通う子どもたちも卒業を迎え、これまで親しくしてきた友人とお別れをします。卒業の時期にない子どももクラス替えなどが行われたりすると、友達とのお別れになります。幼稚園、小学校、中学校、高等学校とそれぞれ時間の長さには違いはあっても、その時の年齢に応じてそれぞれの子どもが友達との別れを経験するのです。

そして、それぞれが学校で入学と進級の時を迎えます。それは新しい「出会い」の時となります。新しい友達と出会い、新しい教師との出会いをします。埼玉育児院では、3月に退職職員を送り出し、新しく入職する職員を迎えます。大人にとっても別れと出会いの時期となっています。

子どもも職員も新たな人間関係をつくる時期となります。職員との別れを経て、不安と期待の中で新しい生活を始めようとしています。大人の職員にとっても同じ気持ちです。前向きな気持ちを持って、職員は新年度に向けて準備を進めています。

さて、埼玉育児院では年度当初に「かさたホーム」(地域小規模児童養護施設)を立ち上げました。分園が4カ所になりました。「社会的養育ビジョン」の小規模化、地域分散化が進みました。子どもの定員数からみても本院は44名、分園は22名となりました。

年々深刻になっているのが、職員の人数が増やせないことです。職員の数がそろわないために、さくらの家を閉鎖することが必要になりました。子どもの面倒をみる大人がいなければ、子どもを預かることもできなくなってしまいます。この問題が、どんどん加速していて深刻な状態が出てきています。

そんな状況の中で、3月10日に激励会が行われます。今年度は、2名の男子は就職が決まり、1名の女子は大学に進学します。それぞれ、新たな人生が始まります。退所した後の生活は、苦しいことや辛いこと、嬉しいことや楽しめることなどを沢山体験していくことでしょうか。孤独ということにも向き合うようになります。

出会いと別れの時期で、寂しく悲しい思いと不安と期待と様々な感情が交錯する時期です。そんな時期だからこそ、人を思いやるという気持ちをお互いに忘れてはいけないと思います。この気持ちは、何にも代えがたく尊いものです。子どもを大切に育てるということも、職員を大切にするとということも、この思いやりという気持ちをもっていなければ大切にすることはできないと思います。

それぞれの立場や年齢に応じて、様々な感情と向き合うこの時期だからこそ、「思いやり」の気持ちを忘れずに、大切に過ごしていきましょう。



# ウィズコロナの1年

待ちに待った行動制限の緩和。待っていた分ワクワクも膨らみ、当たり前に行えることに感謝する1年でした。反面、古き良きを保ちながら効率化を追究していくという意識が強まりました。

## 1, 感染対策の緩和

事務所受付の検温を撤去しました。卒院生のみなさんもいつでも来院できます！

他機関と行われていた ZOOM 会議は適宜対面開催となり出張・外出も増え、里親研修等も施設内で行うことができました。

毎月の職員会議もすべて対面形式の全員集いで行いました。

コロナが少なくなっても、インフルエンザが多かったため、マスクは手放せない状況です。



## 3, 宿泊のお出かけ

お泊りのお出かけを再開しました！

今年は、それぞれのお家で夏休みや冬休み・その他の連休で、大阪・USJ 旅行、海水浴、ディズニーランド、キャンプなど、宿泊の旅行を体験することができました。USJ が人気です。



## 2, 行事の再開

育児院で一番大きな行事である「創立記念お楽しみ会」を4年振りに開催しました。今までの焼きそばのような本格調理ではなく、簡易的な調理で楽しめる肉まんやドーナツなどに食品を変更しましたが、その他ゲームやステージ、地域の皆さまのご来場などは制限をなくし、今まで通りのお楽しみ会となりました。

クリスマス礼拝・退所児の激励会なども短縮や入場制限なく開催できるようになりました。春の BBQ 大会も再開を検討しています。

しかし、コロナ禍の行動制限の最中、育児院では『働き方改革』が始まりました。ウィズコロナとなり今までの制限が解けていく中、感染対策とは違う理由から、勤務時間の中で行う行事・イレギュラー業務の見直しに迫られています。



## 4, 職員のコミュニケーション

4年振りのいわゆる飲み会です！全職員を対象とした、送別・歓迎会、打ち上げなどは、もしものことを考え実施できず、仲の良い職員同士が内々で行なっていました。

今年は、9月23日に盛大に開催することができました。世代間で“職場の飲み会”に対する認識のズレがあるらしいし、しばらく飲み会が存在していなかったし、と再開に関して不安に思っていたが、「世代なんて関係なかったかも…」と思うぐらい多くの職員が参加し、職場よりもリラックスした雰囲気、ワイワイガヤガヤとビール片手に笑い合う楽しい時間となりました。

地域分散小規模化を進めている育児院。同時に、職員のチームや勤務地も地域に分散し小さなコミュニティになります。孤立感の軽減、帰属意識の向上のためにも、“飲み会”の潜在力を再確認しました。



普段なかなか会えず、あまり話さない人との交流ができたのでありがたい  
グルーホーム勤務9年目職員

話したいと思っていた他部署の先輩と話せてよかった  
4年目職員



新任さんもいっぱい参加し、思いのほかよかった！こういう会も、たまにはあったほうがいいんだな  
19年目基幹主任

# 祝



## 定年退職



### お疲れさまでした



今年、大野政子さんが埼玉育児院で定年退職を迎えます。

40年近く育児院の移り変わりを見届けている、とても頼もしい大先輩です。そんな大野さんが退職にあたり最近始めたという歌で、育児院での思い出や今のお気持ちを詠んでくださいました。

「これが私の旅日記」

大野政子

ありがとう 何回言えたか 松本ホーム これが私の自立支援

最初で最後の苺ケーキ「うまい」と笑顔 ありがとう！

おいしいと君が言ったから、今日もスマホでg(グラム)確認

いってらっしゃい、気を付けて、お帰りなさいとドアの音、これが君と私のコミュニケーション

「ゲーム」と頼まれ15段 登って降りればまた登る

宿直室 換気で窓開け ぬき足さし足 まさかと疑う心消し 自分のボケを信じてた

君と暮らしたなにげない日々 今になって気づいた感謝の日々

ヒマーヒマーヒマー こっちはヒマはないんだよ 掃除洗濯御飯作り それから君の宿題保護者サイン

無言の食事 心の中は満腹か コロナで味覚を忘れたかあー

今度は俺がご馳走するよと嬉しい言葉 いつになっても現れぬ Rよ会いたいなあー

1日24時間 25年で220,000時間 いつの間にか定年退職

若かったあー ブリブリブッチャーよ！私のあだ名 昭和だなあー！

寒くない？と声をかければ暑いと答える15の冬 これって反抗期？

大人の都合は子どもには変えられぬ 現実の厳しさ 別れはいつも悲しいね

並んだ並んだ恐竜フィギア ガオーガオーと君との挨拶

森に湧く泉 恩師の言葉は 今も生きている

今日の私の最終目標 水に任せて歩く歩く 今の自分を守るため

『希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない。』ヘレンケラー

## 寄付者・ボランティア紹介

コロナ禍におきまして、感染防止の観点から、大変恐縮ながらご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

令和5年12月～令和6年2月 順不同・敬称略

【寄付】 國分敏代、全国シャンメリー協同組合、ドゥーイング、パイオニア労働組合川越支部、ほっともっと、中俣一夫、市川香菜子、日本鏡餅組合、(株)チュチュアンナ1%クラブ、ユードー協会、積水ハウス建設関東(株)埼玉支店西埼玉事業所、積水ハウス(株)創心の会西支部、(株)カプセルZ、長谷川昭治、(株)毎日新聞社、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、日本スタンゲ(株)、齋藤明、大野エクステリアグリーン、川越笠幡郵便局浜下優輝、大山純子、鈴廣かまぼこ(株)鈴木博晶、尾崎隆文、田村有樹子、西岡義行、長谷川磨由美、長谷川裕、友野由希子、加島玲子、塚本邦子、子供の未来を育てる会竹井博康、まいまい、川口智絵、フィリップモリス・ジャパン、門司一徹、松下紗耶、田中弘、喫茶 Mo 'n 増山晃一、ヤクルトグループ、三菱 UFJ 銀行川越営業所、石田莉、クドウアツシ、川越優親会、有限会社アイワプランニング、医療法人愛和会愛和病院、菅野弘一、霞ヶ関カンツリー倶楽部、元山猛、日本キリスト教団川越教会、埼玉県更生保護女性連盟所沢支部、青木照子、財団法人ミツタカ、長沼若水 他 匿名多数

【ひまわり学習ボランティア】 神山裕一、小室敏夫、寺岡美雪、栗原麻衣子、小野寺久、タンリジン、榎並和良

【ダンス教室】Act The Family 【書道教室】 めいうん書道教室柳明雲

【スケートキャンプ】森田和治みなさま 【写真撮影】アルファクラブ武蔵野

【裁縫ボランティア】秋田かおる 【法律教室】埼玉青年司法書士協議会

【花植え・除草等環境整備作業】育児院サポートクラブ

